

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 13 日

調査者氏名 林山 一郎  
佐田 厚雄 (調)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Procesamiento de Alimentos (日本語) 161 農産物加工	新規 <b>交替</b>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Escuela Agricola Panamericana (日本語): パンアメリカン農業学校					
② 隊員勤務先名称: Departamento de Horticultura 日本語名称(園芸学科) 所在地: El Zamorano 主要都市(テグシガルシア)から 40 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1941年創設、中南米10数ヶ国から生徒を集め、総数350名程、ホンデュラスのみならず中南米のなかでもトップレベルにある。 3年制から4年制へ現在移項中。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 総面積4,000ha、森林、農場、野菜畑、果樹園、牧場、鶏舎、豚舎、養殖場、肉、乳産物、農産物加工場、校舎、寄宿舍、研究室多数、プール、球技場					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター(教授の補佐)					
② 技術の範囲: 農産製造学、食品微生物学、食品原料学、食品化学、食品衛生学、醸造化学、有機化学					
③ 業務の形態: 食品製造の実地指導(ジャム、マレード、トマトソース、トマトペースト、ワイン、酢、ジュース、砂糖菓子、コーヒー、シロップ漬、澱粉、ピクルス各種、その他、納豆、豆腐、漬物等) ビン語、岳語、袋語					
④ 授業形態 (A.M 6:20~10:20、P.M. 13:00~16:00) 月曜~土曜(隔週) 1年級対象、午後、午後とも1クラス(6名程)を相手に教える					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: グアテマラン、39才、既婚、上司、アメリカン/州立大学大学院卒、食品工学専攻、英語に堪能					
⑤ 現地で利用できる機材: 三洗淨機、二重釜、圧力釜、10リットル(裏返し機)、岳語。殺菌運搬装置、二重巻縮機、搾汁機、殺菌釜、脱気槽、小気温器、遠心分離器、顕微鏡、pHメーター、屈折糖度計、振盪培養器、冷蔵庫、その他多数					
⑥ 第3国人等の配置状況 中南米10数ヶ国、アメリカ、スイス、スペイン、ドイツ、日本の教授陣					
⑦ 使用する言語: スパイン語、(英語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
インターナショナルな教官の導入 互いの教育の交流					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○大卒 農芸化学科卒、食品関係の専攻、(出来れば英語の堪能な人)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 20 日

調査者氏名 齊藤 良夫

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コロンビア	(現地公用語) Proceso de Productos Agrícolas (日本語) × Frutales (果物) 産物加工 161	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	86年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Servicio Nacional de Aprendizaje (SENA)					
(日本語): 国立職業訓練所					
② 隊員勤務先名称: SEN A EN CALI 日本語名称(加市職業訓練所)					
所在地: Valle, CALI 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 当所省所属の職業訓練所の人的環境開発のため 職業訓練を行なう					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 地方所長は教師の協力者					
② 技術の範囲: 産物加工に関する知識、技術					
③ 業務の形態: 主として小企業対象に産物加工の理論と実技を教育する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 専門家及技術者					
⑤ 現地で利用できる機材: 共同組合、企業を有する					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 勤務先の CALI は産物の生産の中心であり、将来は輸出向けの産物加工 を小企業に指導教育するもの。現在この知識と技術を有する者が少ない。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 2 月 26 日

調査者氏名 金子 健二

調査責任者 赤野 則昭

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Panadería y Repostería (日本語) 162 製菓 製パン加工	新規 <u>交替</u>	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	1986年 / 月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE FORMACIÓN PROFESIONAL  
(日本語): 国立職業技術庁(労働省管轄下)

② 隊員勤務先名称: Proyecto de Procesamiento de Alimentos 日本語名称(食品加工プロジェクト)  
所在地: サントドロスーラ市 主要都市(サントドロスーラ)から 4 キロ

③ 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき、産業振興の基盤となる人材の養成(農工業技術基礎知識の普及)を目的として、1972年に設立され、1979年より本格的な活動を開始し、年々活動規模が拡大の傾向にある。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 軽工業部門の職業訓練センターは比較的整備されている食品加工センターは、まだ、材料不足の状態であるが、今後より整備されることと思われる。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Misión Japonesa - nivel de voluntario 技術助言者。

② 技術の範囲: 製菓製パン加工全般にわたる知識と技術も持っている事、ある程度高度な製パン加工技術(工業)と手工業的製パン技術も有している事。

③ 業務の形態: 食品加工センターでの食品加工講座開催、地方への移動教室型講座開催、そして製菓製パン企業内に於ける職業再教育及び技術助言活動に分けられ、その比率は 3 : 5 : 2 である。任期の約半分程度は地方への移動教室開催に費やされる。平均して1日3時間 - 6時間程度の授業を受け持つ。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は、一般大衆から製菓製パン企業で働く一般労働者、そして中堅技術者、カウンターパートは現在申請中、1986年には着任するであろう。

⑤ 現地で利用できる機材: 小型フードミキサー2台、電気式オーブン、作業台、他、小型材料、必要材料があれば、協力隊側より援助が可能。

⑥ 第3国人等の配置状況: 西ドイツ、スペイン、スイス、フランス、国連、OJTより専門家。

⑦ 使用する言語: スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食品加工学プロジェクトは、1982年8月に立案され、配属国立職業技術庁の全面負担により食品加工センター建設が始まり、1984年8月よりセンターでの食品加工講座が開催されるに至った。しかしながら、各部門(製菓製パン、食肉加工、乳製品加工、農産物加工、木産物加工)の伝統的な技術協力も、現在の協力隊員派遣システムでは、非常に困難である。受入国側の期待と講座受講生数は、年々増大する傾向にあり、より充実したセンター運営の為に、各分野の協力隊員体制と実施していく必要がある。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上、製パン企業での実務経験3年以上は絶対条件。

食品加工学、特に製菓製パン加工に関する知識と技術を要する。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 2月 25日

調査者氏名 金子 健二

調査員 赤 翠 則 昭

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Procesamiento de Carne (Embutidos) (日本語) 164 畜産物加工	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	1986年 1月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL  
(日本語): 国立職業技術庁(芽吹省管轄下)

② 隊員勤務先名称: Proyecto de Procesamiento de Alimentos 日本語名称(食品加工プロジェクト)  
所在地: サン・ペドロ・スーラ市 主要都市(サンペドロスーラ)から 4キロ

③ 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき産業振興の基盤となる人材の養成(農工業技術基礎知識の普及)を目的として1972年に設立され、1979年より本格的な活動を開始。年々活動規模が拡大の傾向にある。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 工業部内の職業訓練センターは、比較的整備されている。食品加工センターは、まだ材料不足の状態であるが、今後より整備されることと思われる。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Misión Japonesa - nivel de voluntario 技術助言員

② 技術の範囲: 食肉加工全般にわたる知識と技術を持っている。手作業で各種畜産加工品(各種ハムソーセージ等)を製作できる水準にあることが重要である。

③ 業務の形態: 大別して食品加工センターでの講座開催、地方への移動教室型講座開催。また、食肉加工企業内に於ける職業再教育及び技術助言活動に分けられ、その比率は3:5:2である。任期の約半程は、地方への移動教室開催に費やされる。平均して1日3時間〜6時間程度授業を受け持つ。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は一般大衆から食肉企業で働く一般労働者。また、中堅技術員。カウンターパートは農業高校卒、32才。技術水準は農業高校より低い。

⑤ 現地で利用できる機材: 手動式エアスタンプ、手動式ミートチャッパー、包丁類、ボール類、くん煙機等。手作業での製品製作はこれらの材料で容易である。又、必要材料があれば、協力隊側より援助が可能。

⑥ 第3国人等の配置状況: 西ドイツ専門医、スペイン、スイス、フランス、国連、OJTより専門家。加えて

⑦ 使用する言語: スパイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食品加工学プロジェクトは、1982年6月に立案。配属側の全面負担により食品加工センター建設が始まり、1984年2月よりセンターでの食品加工講座が開催されるに至った。しかしながら、各部門(製菓製パン、食肉加工、乳製品加工、農産物加工、水産物加工)の世界的な技術協力。協力隊派遣システムでは非常に困難である。受入側の期待と講座受講生数は年々増大する傾向にあり、より充実したセンター活動展開の為、今後各部門の管理体制を実施していかねばならない。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

農学部卒 大卒が望ましいが絶対条件ではない。実務経験3年以上であれば良いが、又、化学分析等に役立つ知識を持っている事。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 15 日

調査者氏名 東 達 秀 行 

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モルディブ	(現地公用語) Aquatic Products Processing (日本語) 水産物加工	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	62年4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Trade and Industries (日本語): 貿易産業省					
② 隊員勤務先名称: State Trading Organization 日本語名称(国営貿易公社) 所在地: Felivaru 島 主要都市(2-U)から130キロ					
③ 事業規模及び内容: 1978年日本水産庁との合資で創業。1982年より会社独自で経営を始めた。現在従業員は400名で日産400トンを生産しており、2000トン規模に拡張中である。製品はヨーロッパへ輸出される。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 食品検査官					
② 技術の範囲: シンキ缶詰製品の衛生・品質検査。					
③ 業務の形態: 工場は原料・機械・冷凍・缶詰製造・検査の4部門からなり、隊員は検査部門に所属し、3名の検査工とともに、シンキ缶詰の衛生・品質検査をおこなう。又、製造工程における改善点のアドバイスも要求される。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 検査に使用する器具・材料は揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: インド人 食品検査技士					
⑦ 使用する言語: 英語・ディグヒ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 製品の品質は現在VETWを以てヨーロッパの水産加工場に買ってもらっている。この工場はVETWが貼られた市場に出ている。製品の品質がより良くなる、有名メーカーのVETWを貼らなければ市場が得られなくなる。今後とも生産の拡大する方向にあるが、製品のクオリティアップが最重要課題になっている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 食品衛生管理士 or 食品衛生監視員資格。 ○ 経験 5年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 20 日

調査者氏名

三川 義雄

166 水産物加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) FISH PROCESSING	新規	(男) 1人	60年2月	
	(日本語) <del>水産物加工</del> 食品加工	交替	(女) 1人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): PNG UNIV. of TECHNOLOGY (日本語): PNG 工科大学					
② 隊員勤務先名称: FISHERIES DEPT 日本語名称(水産学部)					
所在地: LAE 主要都市(LAE)から5キロ					
③ 事業規模及び内容: 総合工科大学(61年からスタート)の一室の PNG 大学に附属予定)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Res. Technician (研究員助手)					
② 技術の範囲: 魚の処理、冷蔵、乾燥等の学術的、生産的技術を習得する。					
③ 業務の形態: PNG 大学 水産学部において水産加工実習の指導を学生に行い、又 PNG で水揚げされた魚類の加工実習を行ってそのデータ集積、又高度化の研究等を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学生					
⑤ 現地で利用できる機材: 冷凍機、すり身機。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 中国人、日本人、フィリピン人、スリランカ人、インド人、etc.					
⑦ 使用する言語: 英語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
水産加工 同様の技術者を養成に期待する、又 PNG 国内において水産加工産業の発展に寄与する研究・実習を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
大卒(水産学部製造科) 修士が望ましい					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

61-7

記入 昭和 61 年 3 月 17 日

調査者氏名

Handwritten signature

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名
タイ	FORESTRY 森林経営	新規 交替	男 1人 女 人 男女不問 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF STATE PRESIDENTS OFFICE (日本語): 大統領府					
② 隊員勤務先名称: CAPITAL DEVELOPMENT AUTHORITY 日本語名称(首都開発公団) 所在地: ドドマ 主要都市(クアラルンプール)から約520キロ					
③ 事業規模及び内容: クアラルンプールからドドマに電都宣言して12年 現在各国からの協力を以て完成に向けて建設中である。当国最大の都市建設が行われている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術スタッフ					
② 技術の範囲: 都市に対する花木部門と樹木を中心としたものに命じており、植栽が分担して業務を行う。					
③ 業務の形態: 現場指導型 都市周辺に対する植林計画を実施する。育苗センターは造園部門といっしょである。かなり大規模なものである。 (900ヘクタールの植林を行う。苗木生産可能数は年毎100万本である。これは花木をも含む)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 専門的に幼い人間を育成していかねばならない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 一部の機材はある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 数ヶ国からCDAに専門家が来ている。					
⑦ 使用する言語: 英語(スワヒリ語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
日本人(JOCV)の来隊への活動が高く評価し、建設、造園、植林計画と実行しようとしており、かなり高い期待をしている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○大卒、経験者が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

61-3

記入 昭和61年3月14日

調査者氏名 菅野 栄二

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) FORESTRY	新規 ⑤ 養	(男) 1 人	61年4月	
	(日本語) 170 森林 経営		(女) 1 人		
(1) 配属先 農業、畜産関係					
① 配属先名称(現地公用語): Tanzania Dairy Farm Corporation (日本語): タンザニア酪農公社					
② 隊員勤務先名称: KITULO DAIRY FARM 日本語名称(キツロ酪農場) 所在地: 112km 北キツロ A17 8970km 主要都市(ダラバシ)から約900km					
③ 事業規模及び内容: 約2000頭の牛の農場に約2300頭の乳牛が飼育されている。 当農場はタンザニア政府からの援助を受けており、タンザニア政府と提携している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 森林 経営					
② 技術の範囲: 酪農場の緑化事業に関する技術的指導を行う。					
③ 業務の形態: 現場指導員 当地区は標高2500-3000mの山中気候は熱帯地と 冷涼な場所があり現在松、ユーカリが植林されている 地には貴重な樹種があると思われ、 日本の北海道の気候に似ている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 初級レベルで育成中。					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター、トラック類はあり、常時自由に使用できる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 1人					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 乳牛の生産に際して海外の技術から学ぶ必要があり、特に植林技術という分野は、 白熱農場に2名の従業員の研修材料にも必要と、油の付着から特に種苗の 2週間程度は必要。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 特に学歴は問われないが、専攻教育課程で果樹栽培と関係があることが望ましい。 車の免許は絶対必要である。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61年 3月 5日

調査者氏名 浜田 眞一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (サバ)	(現地公用語) Entomologist (日本語) 生態調査	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Forestry (日本語): 森林局					
② 隊員勤務先名称: Forest Research Centre 日本語名称(森林研究所) 所在地: Sepilok, Sandakan 主要都市(サマラン)から26キロ					
③ 事業規模及び内容: サバ州唯一の森林研究機関で500名程度のスタッフは約120名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究員					
② 技術の範囲: 森林害虫(前任者は白アリについて研究)について、野外調査、飼育実験などの計画立案から実施、考察などの幅広い知識					
③ 業務の形態: 野外調査と、所内での調査結果整理、レポート作成と大きく2つの部分に分かれており、野外調査は数名の助手を連れて野営となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 元JICA研修員、中卒、31才、基本的な分類整理の方法はできるとは、一人立ちできている。					
⑤ 現地で利用できる機材: 研究に必要な機材は、ほとんどある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: オーストラリア、カナダ、JOCVボランティア各2名(計6名)					
⑦ 使用する言語: 英語 (日常は、マレー語の頻度大)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: JOCVがまだ4人、JICA専門家1人と協力しているが、今も1人立ちできていない。マレーシアにこの種の人材が不足しているのは事実で、教育機関(大学等)も少ない。打ち叩き話もしているが、受入国からの強い隊員派遣の要請を受けている。ローカルスタッフへの教育が最大の課題である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大卒) できれば、修理工課程					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 日

調査者氏名 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ドミニカ共和国	(現地公用語) Ecología (日本語) 生態学	新規	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	60年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ayuntamiento del Distrito Nacional (ADN)					
(日本語): サントドミンゴ市役所					
② 隊員勤務先名称: Oficina de Programación 日本語名称(企画部)					
所在地: Centro de Heroes, Sto. Domingo 主要都市(サントドミンゴ)から 0キロ					
③ 事業規模及び内容: サントドミンゴ市役所は市内の公共事業全般(特に交通、清掃)を担当している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 企画部 技師					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 市役所企画部に配属され、サントドミンゴ市の再開発、総合整備事業計画に関する調査、研究を行う。 森林(植生)、廃棄物、水質、河川等の環境に対する影響についての調査。 特に首都の河川、流域の保護、廃棄物問題の解決、自然保護計画を担当する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 建築、土木、社会学、都市計画専攻の職員(25才~40才)					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 都市開発計画に関する効果的な技術移転					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒で3年以上の実務経験(森林保護、廃棄物、水質管理、のうちのいずれかを専攻したものが望ましい)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 国際協力事業団  
ポート・モレスビー事務所長

記入 昭和 61 年 12 月 13 日

調査者氏名 武下 博治

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
PNG	(現地公用語) Sawmill Machinery	新規	(男) 1 人	61 年 12 月	
	(日本語) 176 製材	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): Department of Simbu Province

(日本語): フェブーサ (Fevosa)

② 隊員勤務先名称: Mt. Wilhelm Sawmill (日本語名称: Mt. Wilhelm 公社)

所在地: フェブーサ ゲンボル 主要都市 (ゴティア) から 100 キロ

③ 事業規模及び内容: ゲンボル地区唯一の製材所をドイツ製の製材機器を配備し、政府関係建設物用の木材を生産する。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): (出張報告書にて送付済)

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 工場長

② 技術の範囲: 製材に関する知識と経験と有し、製材機械に対する基本的知識と有する。

③ 業務の形態: 工場運営と現地スタッフと共に行動し、また他の協力隊員(森林経営)と共に森林、製材業に係る全体的なマネジメントを行う。この事業に従事する現地労働者には対しては現場における技術の指導を行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況: なし。

⑦ 使用する言語: 英語・ポチン

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

フェブーサ政府の製材工場、森林の開発はフェブーサ発展の「カギ」として長年の集大成と見られており、この事業の帰納は推進はポチン事業の一つとして大きな期待がかかっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

製材業の経験1年以上、1世帯にのみ。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61年 3月 12日

調査者氏名 山口 廣治

61-41

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
カンセー	(現地公用語) Coal Briquettes	新規	(男) 1人	61年12月	
	(日本語) 豆炭製造	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Higher Education  
(日本語): 高等教育省

② 隊員勤務先名称: National Council for Scientific Research 日本語名称(国立科学技術研究庁)  
所在地: P.O. Box 47 15A, Chelston Kusaka 主要都市(IVTカサカ)から 23 キロ

③ 事業規模及び内容: 1967年に設立した 鉱工業科学技術, 農林及び天然資源に関する調査研究, 製造, 情報の収集及び提供を目的としており, 食品加工, 建築, 厚紙, 金工業, エネルギー, 工業公衆衛生, 機械工学 共計検査室 16 工場で構成。調査研究が何れも

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各種調査研究製造に関する基礎的設備はありますが, まだ未整備の部分も多く, 予算マシリンとも今後之を次の互換が期待されています。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 豆炭製造技師

② 技術の範囲: 高い石炭含有率を有する炭を利用し, 利用価値のある豆炭製造を行い, エネルギー不足に悩むカンセーの経済開発に協力する。

③ 業務の形態: 現在, JICA の豆炭七車毎, 南米協会の調査が行われ, この豆炭をエネルギーに転換する。資金と技術について支援の検討が行われ, これを具体化する準備が進められており, この中で現場の豆炭製造技師としてカンセー人からレポートと伴った南米製造の具体化に協力する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 25才~35才迄の専ら学校及び大学を卒業したカンセー人から, 実務に肉づき経験が乏しい。

⑤ 現地で利用できる機材:

オーブン, ソフトウエーブ, 分光光度計, flotation machines, bench scale float flotation pilot plant (36kg per batch)

⑥ 第3 国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: カンセー国のみならず, アフリカにおけるエネルギー不足の問題は, 石油危機の発生と共に世界的な問題ともなっている。この中で, エネルギー不足を克服するために, 石炭を利用した豆炭製造によるエネルギー源の出現は, 大きな期待を寄せられており, 技術協力の実施も大いに期待される。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

豆炭製造あるいはエネルギーに関し, 実務経験があり, 専ら専ら学校で多少ともこの技術理論を学んだ事のある人。職人として実務経験を有する人も可。

※ 事務局記入

明るく, 協調的, 187, 70歳以上の一人として, 22, 114人

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 13 日

調査者氏名 野津善男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
741701	(現地公用語) Fishing Gear & Methods (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Central Visaya Polytechnic College (CVPC) (日本語): 中部セサヤ技術大学					
② 隊員勤務先名称: CVPC College of Fisheries 日本語名称 (CVPC 水産学部) 所在地: Basil City, Negros Oriental 主要都市 (バシ市) から 45 キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数 375人, 教員数 12名 年間予算 80万円 (約 10百万円)					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): バンク (無動) 1隻					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: 小海, 沿岸漁業に関する知識 技術 (曳網, 手網, 刺網)					
③ 業務の形態: 授業を担当するときにこの地にある漁具漁法を紹介する					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 文部省及び県庁の経験者					
⑤ 現地で利用できる機材: バンク 1隻 (小工用灌漑ポンプ)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 本校に隊員1名が配属されている					
⑦ 使用する言語: マタマ / 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: この地は漁具漁法等が実施されており、資源の心配はあり、この地にある漁具漁法の定着が急務であり、そのための要請がある。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 7 日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Fishing Gear and Methods (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Science and Technology (日本語): 教育科学技術省					
② 隊員勤務先名称 Ramogi Institute of Advanced Technology 日本語名称(ラモギ高等技術専門学校) 所在地: キスム 主要都市(キスム)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 現在建築科(配管、木工、石工)、工業科(電気工事、ラジオテレビ修理、自動車工学)科があり、生徒数 600 名、教師 32 名。漁業科は開設計画。設立は 1974 年					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 上記既設学科は十分な設備があるが、漁業科はキスム市から提供された湖岸の土地と仮家屋があるのみ。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁業科講師(現在のところ同科講師は一人も居ない)					
② 技術の範囲: 漁具漁法の基本的な知識。小型造船の知識も有れば望ましい。					
③ 業務の形態: 学科の形態を中学校卒業者を対象とした 2~3 年の常設コースにするか、近辺の小卒程度の漁民を募集した数ヶ月程度の短期コースにするかは未定。生徒を集めて教室で漁具漁法の基本的知識を講義し、簡単な実習を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 中卒または小卒					
⑤ 現地で利用できる機材: キスム水産局事務所(隊員派遣中)からボート等を借りられるかもしれない					
⑥ 第3国人等の配置状況: カナダ人建築学科講師数名					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同地が面しているウイクトリア湖沿岸は豊富な水産資源を有している。沿岸に住むルオ族はケニアで第2もしくは第3の人口を有している指導的部族の一つで、伝統的に漁業を営む。ただしその漁法はまだまだ開発の余地がある。現在ケニア政府は有力なタンパク源として魚を奨励しており、魚を食べる人口が増えつつある。同地での水産資源開発は以上のように必要性が高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 専門学校等で正規の漁具漁業学の教育を受けたもの					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 4 月 15 日

調査者氏名 鈴木敬一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Appareils et Methodes de Peche (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年5月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRE DU DEVELOPPEMENT SOCIAL (日本語): 社会開発省					
② 隊員勤務先名称: Centre de Peche 日本語名称( ) 所在地: Goudomp 主要都市(Ziguinchor)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数 10~20名に対する漁労指導					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ヒローグ 2, 船外機 1, 漁網(引網 1, 刺網 1) 他機関の所属ではあるがヤマハプラスチックボート, 干物台, くん製室常時借用可能					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Centre de Peche 教師(漁労指導員)					
② 技術の範囲: 漁法(引網, 刺網等)の指導					
③ 業務の形態: 研修生と共に出漁し漁労指導を行なう 出荷に関し助言する 簡単な加工指導も行う					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 大部分が投網漁経験者(網の修理は出来る)年齢 25~35才					
⑤ 現地で利用できる機材: ヒローグ 2, ヤマハボート 1, 船外機 2, 漁網 加工用包丁, 砥石, ホーX度計等					
⑥ 第3国人等の配置状況: ツン					
⑦ 使用する言語: フランス語, マンディンカ, バラント, ティオリ 現地語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在 漁法に関して豊かな知識 技術を有する者が おらず在地引網による漁に頼っている状態であるので他の漁法 漁具の指導を(研修生に対し)望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 漁具漁法の知識を有する者, 船外機加工(主にくん製)に関して 簡単な知識を有する者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 13 日

調査者氏名 吉賀 実  
鹿釜 真一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Appareux et Methodes de Peche (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年10月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Secretariat d'Etat aux Ressources Animales (日本語): 動物資源庁					
② 隊員勤務先名称: Direction de Peche Maritime de Missirah 日本語名称 水産庁事務所 所在地: Missirah, Toubacouta, Region de Fatick 主要都市 (カカラ) から 67 キロ					
③ 事業規模及び内容: 職員数人で構成され、漁民の巡回指導、相談にのり、地域水産の発展に務める。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、職員住宅、小型ボート、船外機、網、漁具					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産庁の巡回指導員					
② 技術の範囲: 漁法は主に刺網でマングローブの湾及び沿岸にて漁を行う。漁具に改良を加える等して漁獲拡大に努める。					
③ 業務の形態: 市場調査等も実施し、水産物の販路の開拓にも努める。 主に Missirah を中心に、各漁村に巡回し、漁具の作製、デモンストレーションを行う。水産物の運搬のためトラック運転もある。 勤務時間は 8:00-12:00 15:00-18:00 だが業務によっては変更される。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は漁民 カウンターパートとしては特にないが、水産庁職員と業務をやる。					
⑤ 現地で利用できる機材: テガス刺網、三枚刺網、小型ボート(ヤマ)1隻 ヤマハ船外機。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: フランス語、ウオロフ語、マンディンゴ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 近年、Missirah を中心とした漁村の漁民は、水産による経済発展に力を入れている。巡回して漁具及び漁法の指導及び新技術の導入により漁獲高の向上を目指す。他、市場の調査と図りマーケットの調査等も必要である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 漁具、漁法上において充分知識があり、刺網等の作製、工夫(改良)等が出来ること、(自動車免許)					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 日

調査者氏名 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コロンビア	(現地公用語) Metodos de Pesca Artesanal (日本語) 181 漁具漁法	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Corporación Autónoma Regional de los Valles del Simón y del San Jorge C.V.S. (日本語): シリ・サンホルヘ川流域開発公社(CVRS)					
② 隊員勤務先名称: 所在地: コロンビア州 エスキージョ湾 日本語名称( ): 主要都市(シセル木)から 40キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 海洋漁具漁法プロジェクト次長					
② 技術の範囲: 海洋における漁具漁法					
③ 業務の形態: 漁具漁法に関する新技術の紹介及び、漁民に対する巡回指導、講習会の実施、海洋漁類の活動に関する調査研究。開発公社職員に対する助言指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 小型漁船、船外機、漁網。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 海洋における漁具漁法の実務経験2年以上、小型漁船、船外機の取扱。○					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 12 月 10 日

調査者氏名 草野忠行

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サレ	(現地公用語) Fishing gers and methods (日本語) 漁具漁法 等	新規 <input checked="" type="radio"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Fisheries Division, Agriculture Dept. (日本語): 農業省水産局					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称( )					
所在地: Apia 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 水産局長以下スタッフ8名, 臨時職員5名, 年間予算8000万円 主として地元漁業の開発, 漁礁設置, 養殖プロジェクトが中心。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産局スタッフの一員					
② 技術の範囲: カラーエコーサウンダー, サテライトナビゲーター, 電磁ログ, 電磁コンパス等の 漁業電子機器を操作する。					
③ 業務の形態: 上記機材を利用して海況・漁況調査を行い, 資料を作成し, 地元漁民の 情報を提供する。					
( ) 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 水産局に勤務し7年間の経験はありが 漁業技術水準は低い, 小学校卒, 2桁の掛算ができる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 小型双胴船, カラーエコーサウンダー, カラーエコーサウンダー用データー, 電磁ログ, 電磁コンパス, 電気水温計, トーリング漁具, 三枚刺網, カツオ一本釣等々。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 0					
⑦ 使用する言語: 英語, サレ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上記機材を活用して海況・漁況調査をふり, 漁礁の設置位置 を決定し, 漁民の情報を提供する。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 上記機材の操作ができる事。 小型双胴船を使って, 沿岸漁業のできる事。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

(2)

記入 昭和 59 年 9 月 12 日

調査者氏名

浜田哲郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ソロモン諸島	(現地公用語) Master Fisherman (日本語) 181 漁具 漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Provincial Fisheries Division, Makira. (日本語): Makira州 水産局 (キラキラ)					
② 隊員勤務先名称: Kira Kira Fisheries Division 日本語名称(キラキラ水産局) 所在地: キラキラ 主要都市(キラキラ)から 〇 キロ					
③ 事業規模及び内容: キラキラ水産局の他に支庁が2つあり、6人の職員が勤務している。 漁民に対するトレーニングコースの開催、輸送等も実施している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 写真別添 日本政府の援助により設立された水産局である。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Assistant Fisheries officer.					
② 技術の範囲: 水産関係(実務)に幅広い知識・技能が必要。					
③ 業務の形態: マキラ州の漁民 水産局のエクステンションワーカーに対する漁具の 技術指導、漁法の開発 AUI 技術指導をトレーニング を通じて 教育・育成(スタッフも)する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は、水産局スタッフ全員とする。					
⑤ 現地で利用できる機材: カッター/台、船外機 その他 漁具は一通りそろっているが 十分でない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: 英語・ピジンイングリッシュ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地人スタッフで地域漁民に対し漁具漁法を訓練できる人材 はいない。 JOCVの技術力に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 経験(実務) 2~3年 ○ 水産学専攻					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

60. 4. 30  
(Y) 60-10

記入 昭和 60 年 4 月 18 日

181 漁具漁法

調査者氏名

浜田哲郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ヨモ諸島	(現地公用語) Aquaculture. (日本語) 養殖(漁具漁法)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	61年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Guadalcanal Province, Fisheries Division. (日本語): ガダルカナル州 水産局					
② 隊員勤務先名称: Lambi Fisheries Centre. 日本語名称(ランビ水産センター) 所在地: ランビー 主要都市(ホソウ)から約60キロ					
③ 事業規模及び内容: 9年の援助によって設立された水産センター					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 冷凍庫、海水槽、発電機等。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries officer.					
② 技術の範囲: 技術の範囲は養殖60%、漁具漁法40%であるが、どちらか一方					
③ 業務の形態: のみでも良い。 養殖 - 将来の水産資源としての小規模の海水又は淡水養殖の調査、及びデモンストレーションを実施する。 漁具漁法 - 刺し網、はなわさぎの技術を水産局スタッフ、地域漁民に対し指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 養殖に関しては、何も無い。漁具漁法では、簡単な漁具はある。その他、カヌー、船外機。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無。					
⑦ 使用する言語: 英語、ヒンディー。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 特になし。か JOCV水産関係隊員に一諾により働いてもらうことを強く希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○水産学部卒 ○経験 2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59年 6月 日

調査者氏名

三川 淳

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Fisheries & Aquaculture Technology	新規	(男) 1人	60年3月	
	(日本語) 181漁業・漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MADANG PROV. PRIMARY INDUSTRIES DIVISION (日本語): マダニ州 第1次産業局 漁業部					
② 隊員勤務先名称: 日本語名称( )					
所在地: マダニ州 主要都市(ポートモクベ)から 250キロ					
③ 事業規模及び内容:					
)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries Officer					
② 技術の範囲: 沿岸漁業の漁法と漁具の知識を要す。又 漁具類の修理等。船舶曳船の操縦法等も知識を要す。					
③ 業務の形態: マダニ州 水産局に在り。マダニ州 沿岸漁民の漁具修理等を行う。					
対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
小型船舶、漁網等。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 主にピシヤン英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
大学卒業等 沿岸漁業経験1年以上					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

62. 11/5 受

記入 昭和 60 年 10 月 28 日

調査者氏名 武下 煥治

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Fishing Method	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 181 漁具漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): UNiversity of Technology, Ministry of Education (日本語): PNG 工科大学 (教育省)					
② 隊員勤務先名称: PNG 工科大学 日本語名称 ( ) 所在地: Lae, Morobe Province 主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: 総合大学 (国立) → 1986年より首都へ移転予定					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Lecturer					
② 技術の範囲: 漁具漁法に関する専門的技術、知識を有する事					
③ 業務の形態: 大学生への講義、漁船を用いた漁業調査を行う					
(3) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 漁具漁具 (漁網、漁船、他)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 多数の国より多数の講師					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
以前 JICA 専門家が居たが 1982年12月の帰国に伴いその補充の意味を急ぎ早急に欲する。 JICA 専門家の活動が少なくなった為、日本人技術者の期待が高まった。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
① 修士又は専攻科 (漁具漁法) 英検 2級以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

国際協力センター 長  
ポート・モレスビー事務所 長

記入 昭和 61 年 3 月 18 日

調査者氏名 山下 修治

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Fishing Technology	新規 交替	(男) 1 人	61年12月	
	(日本語) 181 漁具 漁法		(女) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Division of Primary Industry, Fisheries Section (日本語): ガル7世水産局					
② 隊員勤務先名称: 日本語名称( )					
所在地: Thu (イウ) 主要都市(Kerema)から 70 キロ					
③ 事業規模及び内容: ガル7世水産局イウ出張所					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries Officer					
② 技術の範囲: 沿岸漁業					
③ 業務の形態: 水産局出張所に配属され、Thu地区に生活する漁民達の伝統的漁法を学び、近代漁法を取り入れる漁業の普及、技術改良に從事する。また、漁獲物の貯蔵法、加工法、販路の確保に力をもつて行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 水産大学卒					
⑤ 現地で利用できる機材: 沿岸漁具一式					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本の水産技術に期待し、Thu地区の基幹産業として沿岸漁業が発展することを希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 小型船舶免許					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 日

調査者氏名

182 養 殖

松原 新義 山口 美穂

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) / 人	1970年 月	
	(日本語) 養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): The Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (B.F.A.R.)  
(日本語): 水産資源局

② 隊員勤務先名称: BFAR Provincial Fishery Office 日本語名称 (水産資源局地方事務所)  
所在地: Aparri, Cagayan, Region II 主要都市 (Aparri down town) から 0.5 キロ

③ 事業規模及び内容: 種苗生産 (テラピオニロカ, テラピオモザンビカ, カキ), 農家・漁家への養殖技術巡回指導及びセミナー, 適切な漁法の取締り。Cagayan地区には5つの試験場と上記の事務所1つがある。試験場勤務27名, 事務所22名の計49名。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 配属先事務所には池と養殖設備はなし。最も近い Camalamingan 試験場 (Aparriより13km, バイクで30分) には総敷地3.3ha, 池面積2.0haの11の池がある。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Extension Officer (巡回指導員)

② 技術の範囲: テラピオ種苗生産技術の改善, 巡回指導先でのテラピオ生産技術の向上のために必要な技術。池づくりの技術も必要。施肥養殖に詳しいこと。

③ 業務の形態: 種苗生産技術の改善のために, 試験場近くに住み, 毎日池回り程が必要。バイクを使用してのテラピオ養殖農家への指導。15月のうち1週間程度は十分に巡回指導できる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 巡回指導のチームリーダー及び pond manager がカウンターパートになる。

⑤ 現地で利用できる機材: 種苗生産池

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: イロカノ言語 (巡回指導に必要) と英語 (事務手続は英文)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 無投餌で養殖できるテラピオに対する期待は大きい。テラピオ種苗は不足しており, そのために種苗生産技術の向上と改善による種苗生産の増大が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学卒 又は 水産高卒。魚を実際に飼育したことがある人。熱帯魚での経験でも可。増殖学科以外でも可。

※ 事務局記入



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61年 11月 18日

調査者氏名 山本 昭夫

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 1人	61年11月	
	(日本語) 養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): ALABAT COOPERATIVE INCORPORATED					
(日本語): アラバット協同組合					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称( )					
所在地: ケソン州, アラバット島, アラバット町 主要都市(マニラ)から160キロ					
③ 事業規模及び内容: 組合員869名からなる協同組合で、農・漁民が主体である。 小規模工場から貸付・預金・販売・調達・経営指導と一環した業務を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: EXTENSION WORKER (普及員)					
② 技術の範囲: アラバット島の周囲における浅瀬にて、田間養殖でミウズエビなどを生産する。定着した技術はほぼ在来手法であり、これを改善しから					
③ 業務の形態: 漁民の収入増につなぐ技術 協同組合の普及員として漁業を訪問し、指導にあたる。 組合からの貸付金などを活用して収入増、生活向上へ導くことにより 協同組合の経営自体も活性化が期待される。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 男子					
⑤ 現地で利用できる機材: 特になし					
⑥ 第3国人等の配置状況: 男子					
⑦ 使用する言語: マカロク語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
アラバット協同組合は教師の有志により創設された組合であり、 組合員の主体である農・漁民へ対する技術指導を実践されている。 技術的アドバイスを与える人材として要請されており、普及活動することにより 組合員の生活向上にもつなげる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 実務経験 2年以上 普及活動・協同組合作りなどの知識がほしい 尚可。					
※ 事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 26 日

調査者氏名 鈴木 信一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Laboratory Management	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	淡水養殖(淡水漁業)		

1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of University Affairs  
(日本語): 大学庁
- ロ. 隊員勤務先名称: Maejo Institute of Agricultural Technology 日本語名称 (マエジョ農科大学)  
所在地: チェンマイ 主要都市からの距離 (より600キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: チェンマイの農科大学(IAT)はタイ唯一の4年制の国立農業大学であり、農業経営、農業生産の2学部から成っている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 1. 隊員の業務上の地位: 教官(Instructor)
- 2. 技術の範囲及び業務の形態: 隊員は同大学農業生産学部動物学科内水面漁業課に所属し、淡水養殖、淡水漁業研究室における実験・研究の指導、研究体制の整備・改善を行う。学生に対して淡水養殖・淡水漁業についての講義を行う。また大学が行っている週2回農民の普及訓練コースに参加し、タイ側カウンセラーパートとして訓練にあたる。
- 3. 対象者及びカウンセラーの技術水準: 指導の対象は動物学科の学部学生(30-50人)である。IATは4年生大学であり、文部省管轄のAgricultural College(高校3年短大部2年)に比べ学生の質は高い。
- 4. 機材: 基本的機材は一通りあるが充分ではない。
- 5. 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

大学教育に於ても一般的に理論の講義が中心となり単なる知識の取得に止まり、研究、実験、実習等の実践による理解の面が薄れている傾向にある。同学部は特に実験・実習の内容の拡充・改善を通じて教授内容の向上を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒以上 ② 経験3年以上 ③ 年齢26才以上 4. 大学での指導となるため学士の資格に加えて当該分野における大学での研究経験(出来れば修士)があることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 80 年 4 月 30 日

調査者氏名 鈴木信一

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名
タイ	(日本語) 淡水魚養殖	新規	(男) 1 人	年 月	
		交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): The institute of technology and vocational education  
(日本語): コンスタナート農業高等専門学校

② 隊員勤務先名称: コンスタナート農業高等専門学校 淡水魚科 (日本語名称)  
所在地: コンスタナート県クワンソーン市 主要都市 (バンコク) から 1000 キロ

③ 事業規模及び内容: 生徒数 950 人、教師数 80 人。淡水漁業科、農業機械科、畜産飼育科、農業経営科などがある。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: カウンターパートに対して技術指導士を行う。

② 技術の範囲: 淡水魚の病気の研究、調査など。

③ 業務の形態: 淡水魚に発生する種々の病気について研究し、その原因及び対応の仕方について、カウンターパートに指導する。即ち淡水魚に発生する病気を、その病状から原因を突き止める、その方法を指導する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 淡水魚科には教師が 2 人あり、大抵は淡水魚の育て方一般について教えられる。

⑤ 現地で利用できる機材: 池が 3 池あり 20 区あり。20 区の池を食用の池、淡水魚を育てる池、病気の研究する池の 3 区に分けて利用している。

⑥ 第 3 国人等の配置状況: いはい

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 淡水魚(食用)に発生する病気の調査及び研究、又対応の仕方、その他に配属して経験が 3 年以上。年齢 26 歳以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和60年6月27日

調査者氏名

石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 182 養 殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bangladesh Academy for Rural Development (日本語): バングラデシュ農村開発アカデミー					
② 隊員勤務先名称: Comilla Kirtawali Thana Central Cooperative 日本語名称(コシラワリ)郡協同組合(輪会) 所在地: Association (K.T.C.C.A.) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 郡下 約400の農業協同組合に対し各種トレーニングを実施し、 生産用資機材(主に農機具)の貸出及び販賣、復付ローン等の事業を行っている					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 敷地面積 19 エーカー 付属農場 6 エーカーの礼田と 1 エーカーの畑を以て大きな池を保有している					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: B.A.R.D. 内では Associate Member, K.T.C.C.A. 内では Dy. Director					
② 技術の範囲: 一般的な養殖技術					
③ 業務の形態: ① 農民を対象にした淡水養殖法の指導 ② 付属農場内での養殖デモンストラーション ③ 農民に対する養殖トレーニングの実施 ④ 稚魚生産技術指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 28才 農業大学卒 大学は農学部 養殖が専門でないが技術水準は高くない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在この村にはなし 但し各農業協同組合の中には稚魚生産に必要の施設を具備している所あり					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: ベンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 20年間日本人専門家・協力隊員が行ってきた技術協力に対する評価は高く信頼感も絶大である。湖沼の多いこの地方で優良蛋白質源として淡水魚養殖に対する要望は大きく自然養殖から人為的に稚魚生産による養殖法を導入して生産量を高める必要があり期待も大きい					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 学歴 --- 大学卒(水産学部) 資格 --- 特になし 実務経験 --- 4年の経歴					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和58年3月14日

182 養

殖

調査者氏名 小松紀司

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール王国	(現地公用語) Fresh Water Fish Culture (日本語) 淡水養殖	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年 / 月 4	
(1) 配属先 <span style="float: right;">Fishery Section</span>					
① 配属先名称(現地公用語) Ministry of Food & Agriculture, Dep. of Agriculture, (日本語): 食糧農林省, 農林局, 水産部					
② 隊員勤務先名称: Pokhara Fishery Development Center 日本語名称(ポカハラ水産センター) 所在地: カンパチ州ポカハラ市バクタム 主要都市(ポカ)から4キロ					
③ 事業規模及び内容: 同センターはフェワ湖(450ha)、ペクナ湖(225ha)レバ湖(117ha)の3湖水を中心に網生着養殖を行っており、年間10トン程度の生産がある。漁民への養殖技術普及が主目的であり、同育、造船も同センターの仕事である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 魚の稚魚生産用10トンにスカーフの稚魚養成用池6面(約300㎡)と池上及び湖水に網生着45面(約2250㎡)を設置している。					
(2) 隊員の業務内容 ポカハラ谷地内の湖水の水産開発で現在網生着養殖を中心にしている。					
① 隊員の業務上の地位: 3rd Class 土佐技術士である。					
② 技術の範囲: 中国鯉を主とした網生着養殖。					
③ 業務の形態: 上記②に因る湖水でのフィールドワークが主である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 18~38才、中学卒業から大学卒業の技術レベルを有している。また27名の180日研修水産技術士研修生(94年)の研修を完了している。					
⑤ 現地で利用できる機材: 水産に関する機械は一通り揃っており利用可能。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 和田江ア湖の56名のA型研修生(59年3月)と定住研修生(59年3月)の2名。					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1971年8月より現在まで6代にわたる研修生が連続して配属されており、本州の評価は高い。これに4代目(和田江ア湖)時代よりセンターの方針として、カネウチエ湖の網生着養殖の推進に努めてきた。同養殖方法の普及と、それに伴う稚魚生産の技術指導に力を発揮してきた。研修生の派遣を強く希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学(水産、淡水養殖専攻) 実務経験2年以上 中国鯉の網生着養殖に関する知識があること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

14  
5

記入 昭和 60 年 4 月 6 日

調査者氏名 石山由夫  
木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア アラブ共和国	(現地公用語) FISH CULTURE (日本語) 182 養 殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年12月 以降	
(1) 配属先 MINISTRY OF AGRICULTURE AND AGRARIAN REFORM					
① 配属先名称(現地公用語): GENERAL ESTABLISHMENT FOR FISHERIES (日本語): 農業農地改革省・水産公団					
② 隊員勤務先名称: GARB UNIT, SHATHA FARM 日本語名称(国立水産公団ガプスニツト) 養魚場 所在地: シヤトハ 主要都市(ハマ)から80キロ					
③ 事業規模及び内容: 鯉(ドコフ鯉)の採卵ふ化から成魚育成までの一環生産を行っている。 1984年度は60トンの食用魚を生産出荷。'85年度の生産目標は180トンである。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 産卵池(120m <sup>2</sup> )27面, 越冬用稚魚飼育池(200m <sup>2</sup> )10面, 稚魚飼育池(0.5ha)13面, 成魚用池(2ha)27面, 他に出荷用コンクリート池4面。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養魚技術者					
② 技術の範囲: 親魚管理, 種苗生産, 施肥(初期餌料用フランクシ生産), 餌付け及び給餌, 魚病管理, 水質管理等 養鯉・養殖技術全般にわたる。					
③ 業務の形態: 勤務時間は8時から14時30分(昼食は業務終了後)場合によっては時間外勤務もある。 不確定要素もあるが, 養魚場における日常業務全般について, 3人技術者又はワーカー並に業務を行う。 特に技術面では, 採卵, ふ化, 稚魚飼育, 給餌管理が主になると思われる。 地道な日常現場活動を通じ生産向上に努力する一方, 各種データの収集等養魚技術者のありと実践が発見し つつ, 養魚場経営・生産向上等に関係向課題等を整理考察し, これを英文レポートとしてまとめ, 公団関係者等に 報告し, 現場及び公団本部スタッフ等と検討し解決を図る。泳等諸活動を通じ技術移転・生産向上に貢献する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: シヤトハ養魚場には, 場長を含め2名の農業短大卒 者が勤務している。他にワーカー12名, 大卒の技術者はいない。技術水準は決して高くない(年齢24~40才位)					
⑤ 現地で利用できる機材: 50x10mの更き網各1, 餌運搬用トラック1台, 小型トラック1台, ボート2隻が利用可能。 ( JICA派遣の専門家も84年度に種苗生産を指導したことがある。)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 同じガプスニツトに所属するルジニツト養魚場には UNV(ボランティア)1名が活動中。					
⑦ 使用する言語: 英語及びアラビア語 (訓練では英語・アラビア語は現地訓練)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 水産公団ガプスニツトには, シヤトハも含め4つの養魚場があるが, シヤトハ養魚場には, 養鯉に関し, 十分な知識経験を持った者が居ず, 給餌養魚にもかわり 1トン/ha程度の生産しかあげておらず, 技術的に改善・改良が望まれている。また, 日常業務を 通じ一人2名多くの養魚技術者が育つことが期待されている。 更に, 日シ両国の親善交流に寄与することもこの背景の一つである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (水産学部卒)・(実務経験1年以上) 養鯉に関する業務に関し, 一通り水中作業も含め経験 があること, 網類の製作・補修が出来ること, 明確な文書での協調性, 日本人年齢25才以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 12 月 1 日

調査者氏名 高野 謙資

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Pisciculture (Ostréiculture) (日本語) 182 カキ養殖	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Secrétariat d'Etat aux Ressources Animales 動物資源庁					
(日本語): Direction Pêches Maritimes 水産局					
② 隊員勤務先名称: Centre d'Expansion Rural Polyvalent de Loudia-ouolof 日本語名称(首都の農村センター)					
所在地: Loudia-ouolof 主要都市(ダカール)から 60キロ					
③ 事業規模及び内容:					
初の試み。養殖グループ 40名。漁民メンバーでスタートする。					
水産物加工施設もある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
TV					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖技術					
② 技術の範囲: カキ養殖の指導が主であり カキ養殖の船外機の知識が必須。					
③ 業務の形態: 自然のカキを採取し、漁民グループと養殖も試みる。					
養殖に関する技術的指導、販路開拓、漁民グループの運営等。					
一般にカキ採取は 11~4月(乾期)となる。					
公務員勤務時間は 8:00-12:00 15:00-18:00 であるが、農水産関係業務は業務内容に応じて変更される。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 半漁民。技術水準 0。学歴小卒程度。					
⑤ 現地で利用できる機材: ボート・船外機。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員(水産物加工)					
⑦ 使用する言語: フランス語 > 海語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
現地はカキ養殖における条件を備えており、近隣に市場となるリゾート地が存在する。カキの地域経済発展に期待する。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 養殖経験					
船外機知識					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 10 日

調査者氏名 野文男  
山中幸利

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コスタ・リカ	(現地公用語) ACUACULTURA	新規	(男) / 人	年 月	
	(日本語) 182 養 殖	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): INSTITUTO TENOLOGICO DE COSTA RICA (日本語): コスタ・リカ工科大学					
② 隊員勤務先名称: ITCR SEDE SANCARLOS 所在地: サン・カラウ					
日本語名称(コスタ・リカ工科大学) <sup>サン</sup> 主要都市(首都)から100キロ					
③ 事業規模及び内容: 農学関係の学生約200名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 1985年度末の新校舎(教室、実験室、研究室、図書室、食堂、 教職員宿舎、学生寮)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術指導担当 PROFESSOR					
② 技術の範囲: 淡水養殖全般、水エナジーの稲苗生産					
③ 業務の形態: 実験室及び養殖場での技術指導 地域の短期養殖農家巡回指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは 教養係 PROFESSOR (貴校卒業生、28才)					
⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡)等の生物・化学実験器具 水槽、エソトレッタ					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: 西語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 村部の経済発展の一環として養殖プロジェクトが展開されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大学卒					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 日

調査者氏名 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コロンビア	(現地公用語) Piscicultura (日本語) 182 養殖	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Corporación Autónoma Regional del CAUCA (CVC) (日本語): カカ地域開発公社					
② 隊員勤務先名称: Instituto de Piscicultura Tropical 日本語名称(熱帯養魚研究所) 所在地: Valle del Cauca 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 事務所、図書室、実験室の他、養殖用の施設として44のタンク、水槽、養魚池があり、ふ化場が建設中にある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究員(技師)					
② 技術の範囲: 人工増殖					
③ 業務の形態: 熱帯養魚研究所の技師とともに、養殖一般、特に魚卵の飼料、ふ化、稚魚の育成、選別に関する業務の企画、運営にあたる。 業務時間 8:00~12:00 A.M. 2:00~6:00 P.M.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生物学専攻者 2名					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: スポイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 生物学または水産学の学歴及び養魚養殖の経験(2年以上)を要すること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 7 日

調査者氏名

白鳥清志

201

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリ・ランカ	(現地公用語) Pottery (日本語) 陶磁器	新規 <input checked="" type="radio"/> 替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人	62年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Rural Industrial Development (日本語): 農村工業開発省					
② 隊員勤務先名称: Ceramics Centre 日本語名称( ) 所在地: Matara 主要都市(コロンボ)から60* キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位:					
② 技術の範囲: 鋳造成形, 石膏型および原型を制作, デザイン, デザイン絵 陶芸の基本的な理論と技術, 窯の経験のあること。					
③ 業務の形態: 昼給式薪窯の運転, 手回し成形の導入, ワーカーへの技術指導 工場の運営と研修生のトレーニングの両立, 新しいデザインの導入。 高品質化 業務はデザインから生産全般を見守ることになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: デザイナー 1名, テクニシャン 7名 モデリング, 型とりによりは余力を保持し応用可能。					
⑤ 現地で利用できる機材: 電気窯, ボールミル, 足踏キロワダ, 薪窯, 手回し窯, 電動ロワダ					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: デザイン指導と品質管理 陶芸については民間会社の方が資本・技術共に勝っており、品質の高いものを 作るため、農村部に於ける小規模な生産業者の育成は困難と見て、 この業者の技術と高品質の農村部の生活安定、雇用機会の促進を図る。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 経験3年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 12 日

調査者氏名 山口 廣治

61-42 201

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Ceramic Materials (日本語) 陶磁器(原料調査)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Higher Education (日本語): 高等教育省					
② 隊員勤務先名称: National Council For Scientific Research 日本語名称(国立科学技術研究所) 所在地: P.O. Box. CH. 154, Cheltona Lusaka 主要都市(ルサカ)から23キロ					
③ 事業規模及び内容: 1967年に設立 鉱工業 科学技術 農林 天然資源に関する 調査 研究 製造 情報収集及び提供を目的として、食品加工 建築 原子力 鉱工業 エネルギー 機械工学 林産検査 等 16項目に渡り、調査研究が行われる					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各種 調査 研究 製造に関する基本的なものはあ り、また未整備の部分も多く、予算 マニパワーとも少く、支援が期待されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 陶磁器 技師					
② 技術の範囲: JICAの巨額資金で七輪南産調査に伴って、現地における七輪の 製造計画があり、その製作と、その他陶磁器の製造 研究					
③ 業務の形態: JICA 巨額資金で七輪南産調査により、資金及び技術協力の 具体化が準備されている。これに伴い、パイロットプラントでの 七輪の製造が重要な事である。同時に、現地の余剰品は、他の 陶磁器の製作にも大いに役立つ事となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 25歳~35歳迄の専ら学校及び 大学を卒業した、ザンビア人2~3人だが、実務に関する経験が少な					
⑤ 現地で利用できる機材: 陶磁器に関するパイロットプラントの材料は一通りそろっている が、着任後の少く追加費用は必要と思われる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 四、五年前のみならず、素朴な陶磁器は製造 されているが、ガラス 林産 等 木材 改良 不火 漆 加工 数多く見 られる。JICA 巨額資金の七輪 製作を主要業務として、その間に、ザンビア 陶磁器の南産及び、その製造 についての協力が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 陶磁器に関する理論と実務の両方 七輪製作について経験と興味を持つ人が望ましい。					
※ 事務局記入 明るく、協調的の人。プロジェクトの一員としてやっていく人					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 7 日

調査者氏名

山形茂生

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ルワンダ	(現地公用語) Articles en porcelaines (日本語) 陶磁器 201	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	62年 1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministère de l'Intérieur et du Développement Communal</i> (日本語): 内務地方開発省					
② 隊員勤務先名称: 未定 日本語名称( )					
所在地: 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: コミュン内の陶磁器技術指導員					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 全国 143 に分かれた コミュン (Commune) の 1 つに属して陶磁器作製の技術指導をする。現在窯は全国に 2ヶ所有り、そのうちの 1つを使うことになるが、新しく窯を作ることになるかは不明。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 全国に同業のベルギー人ボランティア 3名					
⑦ 使用する言語: フランス語、ルワンダ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地方産業振興の 1つとして同業種は可能性があり、技術指導が期待されている。2ヶ所に有る窯で作られた陶器はすでに市場に出ている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 実務経験 3年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 12 月 16 日

調査者氏名 下園 めぐみ、高沢清


受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボリビア	(現地公用語) Ceramista	新規	(男) 人	86年3月	
	(日本語) 201 陶芸	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): CORDE-CRUZ (CIDAC)					
(日本語): サンタクルス開発公社 (民芸品デザイン研究・商業化センター)					
② 隊員勤務先名称: Cotoca					
所在地: " 日本語名称 (コトカ)					
主要都市 (サンタクルス) から 25 キロ					
③ 事業規模及び内容: サンタクルス州を対象に活動しており、村民の現金収入の道を開き生活の向上を計るやうという事が主旨である。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 現在建設中 (写真添付) 86年3月完成予定					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 村民を指導していく立場にある。					
② 技術の範囲: 最低三年の経験と有し 3ヶ月の経験の有る者。又陶芸に関して、広範囲に熟知している事。3ヶ月を使用する手による製作が主に行う可能性大。					
③ 業務の形態: 村の陶芸教室で村民を対象に指導していく。 (20~30名)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は村民、特に若い世代の人々。 カウンターパートは事前につけられたいが自分も村民の中から適した人物を見つけ事が可能。					
⑤ 現地で利用できる機材: 無し。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: ス페인語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在 仕事場を建設中であり、受入先の隊員に対する期待は大きい。新しいデザインの導入、技術の移転により、村民の現金収入の道を広げて生活の向上を計るやうという主旨で、早くても早い勤務が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 3ヶ月使用による製作を主とする事から、手による製作が主に行う可能性が大である。又陶芸に関して広範囲に熟知している事が要求される。 最低三年の経験を有する者。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

エ4

記入 昭和 59 年 3 月 14 日

調査者氏名

駒澤 彰夫 

210 竹 工 芸

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Bamboo Crafts	新規	(男) 人	61年12月	
	(日本語) 210 竹 工 芸	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配 属 先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Labor and Social Affairs					
(日本語): 労働社会事業省					
② 隊員勤務先名称: Childrens' Amba 日本語名称 (アムバ 子供村)					
所在地: Amba 主要都市 (アディスアベバ) から 210 キロ					
③ 事業規模及び内容: 孤児・身寄りのない子供約 5,000 人に対し、約 1,500 人のスタッフがその教育・養護にあつてゐる一大子供村である。約 4,200 ha の敷地内に全ての設備を持ち、自給自足をめざしている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 0~6才児の村 5ヶ所、7~18才児の村 3ヶ所 (各村には宿泊棟、教室、Clinic、大食堂等がある。) その他 ワークショップ、畜舎、職員宿舎。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術コースの教官					
② 技術の範囲: 現地で入手できる原材料を使用し、現地で需要のある製品をつくる。竹工芸に全く素人の生徒に基礎的匠技術から教えることとなる。					
③ 業務の形態: Grade 10~12 の生徒 (日本の高校に相当) の中で、竹工芸のコースを選択してくる者に対し、基礎技術から応用までを教育・訓練する。本格的な高校の南校と技術科の開設はこれからなので、必要に応じ、指導カリキュラムも隊員自身が準備しなければならない。約一年半前に出来た竹工芸のワークショップ (仮設) には、現在 3 人のスタッフが細々と製品を作つてゐるが、彼らへの指導も重要な業務である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 予合格年齢約 40才 (学歴なし、小さい頃からの経験のみ) 助手 2 名 (男女各 1 名 年齢 25 才位)					
⑤ 現地で利用できる機材: ナイフ、タタなど基本的な工具 (今後コースが本格的になるにつれ、必要な機具類を揃えたいと確約している。)					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: キーボ人、スウェーデン人 (他の教科の教師、医者等と)					
⑦ 使用する言語: 英語、アムハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 南村から 2 年半を経て、ようやく本年 9 月から高校及び技術科の設置が始まろうとしている。 恵まれない子供達に何らかの技術を習得させ社会に出すのは本子供村の重要課題であり、日本からの協力を強く望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 竹工芸に関する知識と 2~3 年の経験を有する人。 英語 (基礎力)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 7 日

調査者氏名 山形茂生

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ルワンダ	(現地公用語) Artisanat du Bambou (日本語) 210 竹工芸	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	62年 1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministère de l'Intérieur et du Développement Communal</i> (日本語): 内務地方開発省					
② 隊員勤務先名称: 未定 日本語名称( )					
所在地: 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術指導員					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 全国143に分けられたコミユン(Commune)の1つに属して竹工芸の技術指導を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: フランス語, ルワンダ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同国は山地で竹が生育しやすく, 地方産業振興の1つとして同業種は可能性があり, 技術指導が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 実務経験3年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

国際協力事業団  
ポート・モレスビー事務所長

記入 昭和 61 年 2 月 17 日

調査者氏名 山下 博治

30竹工芸

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Cane (Bamboo Crafts) (日本語) <del>手工芸</del>	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Division of Commerce, Western Province. (日本語): <del>西プロビンサ</del> 西工局					
② 隊員勤務先名称: Giringareda Cane Furniture Group 日本語名称(ギリガレデ工芸)					
所在地: グル 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 主: 藤, 竹を使用した工芸品の製作					
③ 業務の形態: 自然: 生育する材料(竹など)と利用, 2 家具等の製作と行われ, フェニクス・ジュニアとシ, 現地人スタッフに技術的指導を行う。製作品は世内に広まる。PNG全工芸員と協力し, グル・フォーラムの生活基盤を築く一助とする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: ナイフ, ノリ等					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 自立した産業の育成, 出稼者の増加, 同地域に於ける自然: 入手できる工芸材料と利用, 2 (カ) (地域) 開発の一助とすべき期待は2020。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 竹工芸に若干の経験と有る等。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 24 日

調査者氏名 鈴木規子

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Carpentry	新規	(男) 1 人	61年 12月 62 3	
	(日本語) 211 木工	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Culture Youth and Sports					
(日本語): 文化青年スポーツ省					
② 隊員勤務先名称: Pusat Latihan Belia Dusun Tua 日本語名称(ドゥスントゥア青年訓練所)					
所在地: Batu 16, Dusun Tua, Hulu Langat, Selangor 主要都市(クアラルンプール)から 30 キロ					
③ 事業規模及び内容: 電気, 機械, 自動車等 2~1年半コースが全部で 22 科ある					
訓練所は 常時 800 名程度の訓練生と 100 名程度の指導員から成る。平均					
年令 20 才の ドゥンアウト者(中卒)に 技術を修得させることと目的。政府の訓練					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 建築, 木工コースは 初級, 中級部門に分かれ 機関車あり					
訓練に必要な機械類は 整っている。訓練所内には 管理棟, 実習棟, 訓練生の寄宿					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 建築, 木工コースの インストラクター					
② 技術の範囲: 基礎から応用までの 木工技術一般。家具 建具技術が中心。					
修業コースの シラバス改善にも携わる。					
③ 業務の形態: 日本からの 技能士資格と同様の形態で 国家技術検定試験が					
あるが, (LLPPKK) の 初級, 中級資格の 取得を目的とした 訓練である。					
週 22 時間, 2 年間であり。最初の 1 年は 初級取得, 続いて 半年の 企業					
実習, 残り半年の 中級取得用から成る。隊員は 主として 中級クラスの 理論					
及び 技術と 相当し, 直接 訓練生に 教えることには なるが, 初級クラスの					
アドバイスも 必要とされる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 木工コース 主任が カウンターパートとなり					
年令 30 才位, 日本にて 9ヶ月の 研修受講済で 上記 LLPPKK の 上級資格取得者。					
⑤ 現地で利用できる機材: jointer, thicknesser, circular saw, radie arm saw,					
band saw, latch machine, 等。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国では 青少年対策が 課題とされており, 昨今より 青少年					
に 技術をつけさせ, 非行, 犯罪防止に 力を入れたい。よって, この 訓練所を 更に 予算					
が 大幅に アップし, 訓練生 総数も 1987 年 12 月 1,200 名を 予定している。LLPPKK					
資格は 未だ マレーシアでは 修得者数も 取得しないうえ, この 取得により, 就職も					
より 有利になる。隊員には この LLPPKK 合格者数も アップの 期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○二級建築士, ○実務経験 3 年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和61年3月14日

調査者氏名 大西 翹夫

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Wood Technology	新規	(男) / 人	年 月	
	(日本語) 211 木 工	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education					
(日本語): 文部省					
② 隊員勤務先名称: Addis Ababa Technical School 日本語名称(アジスアベバ技術学校)					
所在地: アジス 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: エチオピアで最大最大の技術専門学校である。 生徒数約500名で教師は60名、9学科に分かれており 昨年より2年制から3年制に移った。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 木工科の教師					
② 技術の範囲: 主として木工の实操と教員としての木工全般にわたる講義を行う。 日本の工業高校又は職業訓練校程度					
③ 業務の形態:					
1日4時限から6時限程度の实操と講義を行う。 現在学校を改装中につき、その必要な家具等の 製作も行っている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: エチオピア人教師と同じ扱いのため 特にカウンターパートはいない。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
一定設備確保は揃っており、電動機械や電動工具の使用 も可能であるが故障も多い。					
⑥ 第3国人等の配置状況: GVS 5名、12人3名					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
現状、工人の教師は2人しかおらず、3年制に移行させることになり、 同1隊員(5/3次)の後任をまつて不足がみられる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
実務経験と無視して選考願いたい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 9 日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) Wood Processor (日本語) 木工(家具) 211	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Wood Industries Corporation Ltd. (日本語): 木材工業公社					
② 隊員勤務先名称: Blantyre Sawmill 日本語名称( 木工所 ) 所在地: ブランタヤ 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 近年政府より独立して木工公社としての経営に踏み出している。従業員数約970名でブランタヤ、ソルバ、ティサ、ムスズに4つの工場があり、家具等の製作、販売を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 家具一般の製作、販売					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 工場内の家具製作スーパーバイザー					
② 技術の範囲: 1、クワン家具(机、椅子、戸棚、ベッドその他)のデザイン、製作、及び木工機械の保守、管理にあたる。					
③ 業務の形態: 工場内で1、クワン家具の製作、デザインに従事する一方、他のスタッフの指導も行う。 植林した木材が各地で徐々に育っており(20〜30年)ゆえに利用された実用家具が普及されることを望んでいる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 英国で1年間の木工を学んだ45才のスタッフがいる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 木工機械一般					
⑥ 第3国人等の配置状況: 西独人(オペレーティング・マネージャー) 契約(2年)ベース					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1984年7月に木工公社として独立して以来新しいデザインの南米に力を入れている、又同時に技術、知識の導入にも意欲的である。従ってこれからの分野での隊員に対する期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 家具のデザイン、製作に5年以上実務経験のある者 ② 専門学校卒以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

3F

記入 昭和 60年 7月 24日

調査者氏名

山崎 昇

211

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガナ	(現地公用語) Carpentry (日本語) 木工(家具・建具)	新規	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Presbyterian Church of Ghana (日本語): プレジビテリアン教会					
② 隊員勤務先名称 Ramseyer Institute Kumasi 日本語名称 ランセイヤーイstitute 所在地: Kumasi - Kyarapatohe 主要都市(クマシ)から 13 キロ					
③ 事業規模及び内容: ユーロピアン教会からの援助により Presbyterian Church of Ghana のもとに設立された 農業職業訓練校である。(全寮制, 3年制)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室, ワークショップ, 寮, 農場, 畜舎。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Instructor in Carpentry.					
② 技術の範囲: 木工に関係する技術, 理論及び初歩的な製図などを初歩から教える。					
③ 業務の形態: 着任時半年位は実技指導を行なう。その後クラスをもつようになる。授業受け持ち時間は週3日間の実習と2日間(4時間程度)のクラスルームである。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: ポリテク卒, 実務経験約6年間, Building Department head, 36才					
⑤ 現地で利用できる機材: 工具は豊富であるが、にぎりカンナなどは押して使用する。又電動マシンはない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 英語, Twi 語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 深刻な予算不足を少しでも補なうと同時に, Building Department の運営資金だけでも自力で獲得し, 少しでも高度な Training を行なう。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高卒程度, (実務経験3年以上)。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59年 9月 12日

調査者氏名 金山 昌幸

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
ガナ	(現地公用語) Carpentry & Joinery (日本語) 木工 (建具)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Catholic Diocese of Kumasi (日本語): カソリック教会					
② 隊員勤務先名称: Catholic Technical Institute 日本語名称 ( ) 所在地: Kumasi 主要都市 (アジ) から 270 キロ					
③ 事業規模及び内容: カソリック教会のもとに設立した 中卒者 (あるいは 中学ドロップアウト) を対象とした職業訓練センター (開校 59年10月) 配属 木工 在官各 2-2 15人位でスタートの予定 (3年制)					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 現在ある教会内の仮校舎 (4教室 + 2 workshop) であるが 2-3年うちに新しい敷地に移転の予定					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Instructor in Carpentry					
② 技術の範囲: 木工に関する知識を (ほとんど) 学校から 実務主体に教える。					
③ 業務の形態: Instructor として class をつづけるのみでなく 2-2 運営 かつ 2人の の作成を 実務的に 自分で 2-2 をデザインしていく 必要あり					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 未定					
⑤ 現地で利用できる機材: 不十分 であるが 基本的には plainer, saw 等 木工機械 はとくに 故障 部位 あり。 木工工具 は 十分 あり					
⑥ 第3国人等の配置状況: 教会に 2人の project a 2-2 として オーストラリア人 2人					
⑦ 使用する言語: 英語 TWI					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
手に職が あり 用を 果たしている 中卒の 中学ドロップアウトの 少年 2人に 授けたい ところ である ことを 希望 している。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件についてO印で囲むこと):					
学歴不問、実務経験 3年以上。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 国際協力事業団  
ポート・モレスビー事務所長

記入 昭和 61年 3月 17日

調査者氏名 武下 煥治

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Carpentary	新規	(男) 1人	61年8月	
	(日本語) 211木工	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): エニカ# 教育局  
(日本語):

② 隊員勤務先名称: Kompiam Vocational School 日本語名称(コピアム職業訓練校)  
所在地: Kompiam (コピアム) 主要都市(Wabag)から100キロ

③ 事業規模及び内容:

手造りの校舎, 事務所, 火用2小学校, 高校と  
如く若者に対して, 農業, 整備, 木工製作等の

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 授業を行なう。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: インストラクター

② 技術の範囲: 木を使った机, イス, ベッド等の製作

③ 業務の形態: 物件に対して, 木工技術と伝授のみ。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: ノコギリ, カナヅチ等 基礎道具

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: ピデーン, 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

コピアム職業訓練校の新設されたものが予算上からスタッフ  
の不足がある。協力隊員に依り, スタッフを補充し, かつ  
新しいスタッフを養成してほしい希望(2人)。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

木工経験2年

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 10 日

調査者氏名 真野 忠経

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サロ	(現地公用語) Panel Beater	新規	(男) 1 人	61年12月	
	(日本語) 自動車板金塗装	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Public works Dept.					
(日本語): 広業事業局					
② 隊員勤務先名称: PWD Salelologa Workshop. 日本語名称(サロロガ車輛整備工場)					
所在地: Salelologa Savaii. 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 徒弟良 20名 程度の車輛整備工場					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 板金・塗装部内の責任者.					
② 技術の範囲: 自動車板金・塗装について全体的知識があり、車体の板金加工技術が得意.					
③ 業務の形態: 現場で自らの板金加工・塗装にあたり、西サロ人整備士の技術指導にあたり.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 板金・塗装部内 徒弟 6 名程度がカウンターパート.					
⑤ 現地で利用できる機材: 全くない.					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: サロ語 及び 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
西サロには専門的に訓練を受けた板金加工技術者が少ない。協力隊員の指導により現地技術者の技術向上を目指す。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 実務経験豊富である					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

207

記入 昭和 60 年 4 月 25 日

調査者氏名

白鳥清志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
SRI LANKA	(現地公用語) Sheet Metal Work	新規 交X替	(男) 1 人	60 年 12 月	
	(日本語) <del>(Light Alloy Metal Work)</del> 222 板金 (軽金属板金)		(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Dept. of Probation & Child Care Service (日本語): 社会事業省青少年保護局					
② 隊員勤務先名称: Certified School, Makola 日本語名称 (更正訓練校)					
所在地: Makola 主要都市 (コロンプ) から 30 キロ					
③ 事業規模及び内容: 軽犯罪者により保護された 14 ~ 18 才の少年を裁判所の指示により 3 年以内 収容し、一般教育と職業訓練を行なう。 現在あるコースは 自動車整備、旋盤、パンチング、大工、農業の 5 コース					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 初心者を対象とした実技					
③ 業務の形態: 10 ~ 20 名の収容者を対象に板金の実技を指導する。 クラスは 8:00 AM ~ 3:30 PM 2 月 ~ 金曜日					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートなし。 収容者は 14 ~ 18 才					
⑤ 現地で利用できる機材: 基本的なものは配属先が提供する。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: シンハラ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 技術者の海外流出 — インストラクター不足					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 経験					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣・受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 9 日

調査者氏名 和田 仁

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
インドネシア	Metal work 230 名	新規 (交替)	1 人 (男女不問)	1987年 3 月	
(1) 配属先					
1 配属先名称: 現地公用語: <u>Asil Comprehensive Secondary School of Education</u> (日本語): <u>アセラ・コンプレヘンシブ・セカンダリ・スクール (文部省)</u>					
2 隊員勤務先名称: _____ 日本語名称( ) _____					
所在地: <u>アセラ</u> 主要都市(アタス・ペン)から <u>175</u> キロ					
3 事業規模及び内容: <u>Metal work (金属工作科) に属する</u>					
4 設備概要(写真添付が望ましい): <u>旋盤, フライス盤, 研削盤, 切斷機, グラインダー等の工作機械, 及び各種の工具が備わっている。</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>Metal work 科の教師</u>					
② 技術の範囲: <u>1) 各種工作機械についての操作, 機械工作に関する技能 及び 工場を運営する能力 2) 機械, 材料学, 電学等の工学の幅広い知識と実際の経験</u>					
③ 業務の形態:					
1. <u>grade 9 ~ 12 の生徒に対する授業を中心</u>					
2. <u>grade 11, 12 の生徒には, 特に実習があるので, 下級指導する</u>					
3. <u>全廠工場実習工場内の運営</u>					
4 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: <u>無</u>					
5 現地で利用できる機材: <u>各種工作機械(①の④参照), 板金工作用機械, 各種工具, 板金, 角材, 丸棒, ペンダ, 板金用ブリキ板等</u>					
6 第3国人等の配置状況: <u>学校内には インド人, ケンヤ人, ソマリの教師がいる。</u>					
7 使用する言語: <u>授業や学校内では英語, 日常生活ではアムハラ語</u>					
8 受入希望の背景と受入国の期待: <u>文部省配属は隊員派遣の歴史が浅いので, 文部省, 学校と隊員との間は探索することが多い。しかし将来の中堅技術者を養成するために急務としているアセラでは技術学校に多くの職種の日本人教師が配属されることを望んでいる。また, 日本人教師に対する技術の習得・伝授性は文部省内でも高いとわかる。</u>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について(印)で囲むこと):					
<u>明朗・快活・協同性・社会性</u>					
<u>幅広い技術者としての体験・経験 (機械科出身者と現場実務経験3年以上の有)</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 6 日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア共和国	(現地公用語) Metallurgy	新規	(男) 1 人	70年 60年 月 早、時期	
	(日本語) 290 冶金	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Kenya Industrial Estates (KIE)  
(日本語): ケニア工業団地公社

② 隊員勤務先名称: KIE Nyeri Office 日本語名称(ケニア工業団地公社ニエリ事務所)  
所在地: ニエリ市 主要都市(ナイロビ)から 150 キロ

③ 事業規模及び内容: 中企業育成を目的とした公社。1978年ICDC(産業開発庁)から独立, ケニア工業省直轄となる。国内 8ヶ所に工業団地を設立し各国地を中心にその地方の中企業の育成・振興を図る。年間予算約 5 億円, 職員数約 350 名。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 1983年にJICA無償で建設された鍛造工場を含む 4.9 haの工業団地を有する。現在建屋は 24 軒。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 前記鍛造工場の監督官

② 技術の範囲: 鍛造一般(切断・ハンマーリム、刃付け、グラインディング、溶接、焼入れ、鋼材の組織分析、等)

③ 業務の形態: ① 鍛造工場全般の監督  
② 機材の運転、維持、修理の指導  
③ 鍛造製品(農機具、家庭雑貨品、建築金具等)の生産指導

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 専門学校卒業後、<sup>在</sup> ナイロビの大手金属加工業社で技術者として 10 年間勤務 32 才。

⑤ 現地で利用できる機材: 鍛造工場に付随している設備一式(プレスマシン、スプリングインコー、炉、クランパー、その他工具)

⑥ 第 3 国人等の配置状況: 日本人専門家 2 名(中企業育成)

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本年 4 月に前記鍛造工場が完成し近代的な機材が設置されたが、その後、技術的な問題も発生し、充分に設備が活用される。従って生産状況も極めて良率が高い。機材の可動率を上げ生産能力を高めるためには是非とも隊員の派遣が望まれる。これを果敢にはこの鍛造工場を単なる生産の場にとどめず、ケニア中央州における金属加工技術者養成センターとして活用されることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):  
学歴については、特に問われないが鍛造の実務経験を少なくとも 5 年以上積んでいることが望ましい

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 60-25

230 冶

古賀(文部) 金 5/4

記入昭和 56年 3 月 20 日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) MINE METALLURGY TEACHER (日本語) 冶金教官	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTRY OF Higher Education

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Technical Education & Vocational Training  
(日本語): 高等技術教育職業訓練局

ロ. 隊員勤務先名称: Zambia Institute of Technology 日本語名称 (ザンビア工科大学)  
所在地: P.O. BOX 21003, KITWE 主要都市からの距離 (キトウェより 200km)

ハ. 事業規模及び内容: 当校は中級技術者教育する学院として入学資格のない高校 (FORM V) 卒業試験合格者 (上位) は者 学生数 550名 1975年 15-30% 修業年数 2年 3年 3月 工業 化学科 建築科 土木科 電子科 金属科 その他全部 29科 である。 (但し 9科は 遠隔 経理科 計 11科あり) 教官数 約 90名 うち 40-45% 白人 講師 (白人 英国人 2名 白人 2名) 当校は 1970年 地 方 政府 (3等校) 及び 中央 政府 (教育 材料 設備 他) の 後

(2) 隊員の業務内容: 日 本 語 教 育 材 料 全 部 他 毎 月 2000 円 支 給 受 入 心 事。 校 業 材 料 等 一 切 費 料。 二 設 備 規 模。 国 語 等 教 育 設 備 整 備 中。

1. 業務上の地位: 冶金科教官

2. 技術の範囲: 銅の冶金学を教える。  
金属材料学... 金属一般 金属材料試験 材料加工等  
非鉄冶金学... 銅湿式製錬 電解精製 鋳造 鍛造 圧延 等  
その他も教える。

3. 業務の形態: 教室内 実験室 講義 指導 18-24時間 相当。 1時間 60分。

4. 訓練生: FORM V, 高校卒業程度。 卒業試験合格者上位合格者

5. 利用する機械: Froth Flotation cells, Magnetic separator, Ball Mills, Vacuum Pressure filters, Moisture ovens, PH Meters, Gyrotory Crusher, Sieve shaker, Sample splitter, Polishing sets, etc ...

(3) 受入希望の背景と受入後の期待:  
ザンビアの発展の中で、中級技術者の育成は急務であり、特に教育分野への協力を必要としている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
① 大学以上 (鉱山学部 含む)  
2. 実務経験 有る者 が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59年 8月 28日

調査者氏名 松尾邦義・中西松之

231 鑄 造

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Foundry (日本語) 鑄造	新規 <input checked="" type="radio"/> 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bulacan College of Arts and Trade (日本語): ブラカソン工芸大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称( ) 所在地: Malabon Bulacan 主要都市(マニラ)から 40キロ					
③ 事業規模及び内容: 大学のテクニカルコースの学生に鉄・非鉄金属による鑄造に関する職業教育を行なっている。生徒は1,2年 各々10名程度					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別紙参照 11物の基礎あれは3月の研修で済んだ					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター⇒技術指導、所工場の現場男しくど					
② 技術の範囲: キュボウ、ルツボ炉を用いた鉄・非鉄金属の鑄造技術、中子を利用した造型技術					
③ 業務の形態: インストラクターとして鑄造科の開発、具体的に鉄・非鉄金属の溶解炉の操作指導、造型技術として中子を利用した砂型造型指導、以上の業務を模型科、機械科とのタイアップで行なう					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 鑄造技術とバグロツド(サンフェルナンド)工芸大学で学ぶ 24才					
⑤ 現地で利用できる機材: 溶解炉としてキュボウ、ルツボ炉(ワークス使用)、造型機材として中子乾燥炉及び造型道具、マシンなどはないが、基本的な機材は揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: タカログ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鑄造科の開発及び模型科、機械科とのタイアップにより、学校内外で必要の手工具類、生徒用品等を生産出来た状況を作りあげること					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高専卒業で機械科あるいは金属工業科を履修した者、最低2年程度の実務及び指導経験が必要					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 58 年 2 月 15 日

調査者氏名 平沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
2612P	(現地公用語) Foundry (日本語) 鋳造	新規 交替	(男) 1人 (女) 0人 (男女不問) 1人	年 月 61 12	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (Kementerian Pelajaran Malaysia) (日本語): 2612P 文部省					
② 隊員勤務先名称: Politeknik Ungku Omar Ipoh 日本語名称(体系-技術工芸短大) 所在地: Jalan Dairy, Ipoh, Perak 主要都市(体系内)から 5キロ					
③ 事業規模及び内容: 鋳造、機械、土木建築、商業の4科を擁し、学生2,000人、教員が250人いる。 政府機関及び民間企業の中堅技術管理者以上の人材を養成する短大で、船舶工学コースで際...? 修業期間は27ヶ月で、1年目と約半年間の工場実習が義務付けられている。生徒は日本の学制で					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 3ヶ月高技2年を終了して入学資格が得られる。 鋳造工場現場にはモーター(排気口の炉の炉内径約350mm、有効高さ約1800mm)前炉1台、反射炉(電炉)1台					
(2) 隊員の業務内容 3ヶ月1台、電気炉2台等がある。					
① 隊員の業務上の地位: 現地インストラクターと同格又は Assistant Lecturer					
② 技術の範囲: 鋳鉄、アルミ鋳造の実習指導を主とする。蒸理のものも小さいが、木型製作に関しても心通りの経験と関連知識を持つべきらしい。					
③ 業務の形態: 機械科に学ぶ学生(機械一般、生産機械、自動車、冷凍空調、船舶コースあり)約400人が休むと5週間一度循環し、1週間約30回1台(1回約45分)の実技訓練をコースで行うが、隊員は現地教員と一緒に、又は分担して学生に実技指導を行うほか、教員達に、技術指導を行う。					
対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象学生は18~20才から30才まで、一部中等職訓練校卒の学生も関連知識を有する。技術水準は低く、技術系教員養成短大卒の教員が3名、鋳造で					
⑤ 現地で利用できる機材: 上記設備概要欄の機材も、専門に望むだけでなく、技術水準は低い。 フルに活用可能とはいえず、派遣される隊員及び現地教員の技量如何で、相応の機材購入の用意(受入側)にはある。各試験機は日本製の銘構品も揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 米国防務部隊司令部の西初中2名が1983年中に引揚がては、鋳造工場にはいない。					
⑦ 使用する言語: 2612P 80% 英語20%、専門用語は英語が99%					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の技術社会の現状と将来に対応べく、より高度な鋳造技術と学生に伝授すべきであるが、肝心の実技担当である現地教員達の、本分野に関する専門的教員訓練と急がなくてはならない。非常に許す。少くとも現在ある機械設備をいかに完全に活用して、その技量を持たせ卒業生を育てるべく、併せて教員を満足できる技術水準に養成する等の指導が必要であり、この点で隊員に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 環境から見て短大卒以上の望みの、募集の困難な職種でもあるので、学歴は特に向かい。但し、鋳造業務経験4、5年以上を有し、幅広い技術知識を有していることは不可欠である。出来れば木型製作に関する技術も欲しい。					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 39 年 9 月 13 日

調

中原正孝

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
ニハール	(現地公用語) Iron Casting	新規	(男) / 人	30 年 9 月	
	(日本語) 23   鋳造	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Industry - Department of Minerals Geology  
(日本語): 工業省 鉱山地質局

② 隊員勤務先名称: Pilot and Demonstration Foundry Project 日本語名称  
所在地: ニハール, ナガン Foundry 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: 1979年 UNIDO の資金援助を受け、70名以内の外国人を  
鋳造業者のトレーニング及びニハール政府事務官雇用、生産規模は年間100人以内  
投資が50万

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: ニハール政府事務官

② 技術の範囲: 鋳造、鋳造設備の加工、鋳造設備の修理に必要となる  
技術

③ 業務の形態:

- 1) 鋳造設備の修理に必要となる技術
- 2) 国内鋳造業者に対し、短期(1ヶ月程度)のトレーニング
- 3) 鋳造設備の修理

④ 隊員及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ニハール政府事務官  
1974年12月1日に就任した。1974年12月1日に就任した。

⑤ 現地で利用できる機材: 別途添付

⑥ 第3国人等の配置状況: 70名以内の外国人を70名以内の外国人を UNIDO が  
使用する言語: ニハール語 日本語 英語 (必要に応じて)

⑦ 受入希望の背景と受入国の期待: 79年 UNIDO の資金援助を受け、70名以内の外国人を  
ニハール政府事務官に若し、その結果としてニハール政府に必要となる技術者を育成すること  
が目的である。UNIDO の資金援助を受け、70名以内の外国人を UNIDO が  
使用する言語: ニハール語 日本語 英語 (必要に応じて)

隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):  
工業系技術者(鋳造設備の修理に必要となる技術者) (必経)

事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

60-2

記入 昭和 60 年 2 月 25 日

231 鑄 造

調査者氏名 山口 慶治

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Foundry Engineering (日本語) 鑄造	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Higher Education (日本語): 高等教育省					
② 隊員勤務先名称: National Council for Scientific Research 日本語名称(国立科学技術研究所) 所在地: P.O.Box CH 30158 Chelston, Lusaka 主要都市(中心)から 23 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1967年に設立され、鉱工業、科学技術、農林及び天然資源に関する調査研究、情報の収集及び提供を目的としており、食品加工、建築、原子力、鉱工業エンジニアリング、環境工学、機械工学、林業検査等16項目に亘る調査研究が行われ、科学技術行政的の内容。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各種調査研究の基盤的な物はあるが、また未整備の部分も有り、予算、マンパワーの不足も有り、今後とも多くの支援を期待している。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 鑄造技術指導					
② 技術の範囲: 鑄造技術に関する基礎づくり及びその指導。					
③ 業務の形態: 〇 鑄造に関する機械はまだ備わっていない。 〇 最終的には鑄造技術による各種部品、機械の製作を目指している。 〇 高温炉、鑄造機械、高温時の操作機具等の整備に関する指導 (基盤的な)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ザンビア大学及び各種専攻学校を卒業した者及び一般技術員候補者 23 ~ 35 歳程度					
⑤ 現地で利用できる機材: 基盤的な機械はまだ備わっていないが、簡単なフイゴ的な物は有り、しかし、専攻家畜飼育後具体的な導入指導が必要と成る。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。(軽高温炉等)					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ザンビア国立科学技術研究所として、標記した調査研究を遂行しているが、人材の不足、予算の不足等もあり、足踏状況が懸念されているが、同所では、中小企業等の技術開発に際し、各種部品の国内生産が出来た様に成れば、各地に部品不足の苦境を止めて、車輦や機械が再び活動し、他の工業製品を言え、産業に活気を取り戻すきっかけとなるかもしれない、この期待感があるからである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 鑄造技術経験者か望ましい					
※ 事務局記入: 経験年数も理論と実務で、対応出来るかは充分と思われ、 基盤的な設備の事が指導が出来るか、外交的、交渉能力がある人が望ましい。					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

208

記入 昭和 60年 4月 25日

調査者氏名 白鳥清志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
SRI LANKA	(現地公用語) Metal Jurgy (Forging)	新規	(男) 1 人	60年12月	
	(日本語) 232 鍛造	交流員	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Dept. of Probation & Child Care Service (社会事業省)					
(日本語): 社会事業省青少年保護局					
② 隊員勤務先名称: Certified School, Hikkaduwa 日本語名称(更正訓練校)					
所在地: Hikkaduwa 主要都市(コロンボ)から100キロ					
③ 事業規模及び内容: 軽犯罪等により保護された12~16歳の少年を、裁判所の指示により3年間收容し、一般教育と、取業訓練を行う。 現在あるコースは、大工、石工、電気のみ					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 初心者を対象とした実技					
③ 業務の形態: 60名程の收容者のうち、15名程度を対象に鍛造を指導する。 クラスは、8:00AM ~ 3:45PM で、月~金まで。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートなし。 收容者は、12~16才					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
技術者の海外流出、— インストラクター不足					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○経験					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61年 3月 24日

調査者氏名 鈴木規子

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Welding	新規	(男) 1人	61年12月	
	(日本語) 240 溶接	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Culture Youth and Sports (日本語): 文化青年スポーツ省					
② 隊員勤務先名称: Pusat Latihan Belia Dusun Tua 日本語名称(ドゥスントゥア青年訓練所) 所在地: Batu 16, Dusun Tua, Hulu Langat, Selangor 主要都市(クアラルンプール)から 30 キロ					
③ 事業規模及び内容: 電気、機械、自動車等の2~1年半コースの全部で22科ある訓練所に、常時800名程度の訓練生と100名程度の指導員から成る。平均年令20才。ドゥスントゥア省(中州)に技術と体得をせよと目的。政府の訓練					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 管理棟、実習棟、訓練生の宿泊棟等。機関がある					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 溶接科のインストラクター					
② 技術の範囲: A-7溶接、ガス溶接、TIG溶接、MIG溶接等、理論及び実技技術と有ること。又、製品と作る応用技術も必要。					
③ 業務の形態: 日本の技能士資格と同様の形態で国家技術検定試験がある。(LLPPKK) 4の初級、中級資格の取得を目的として訓練である。週22時間、1年半であり、初級取得、企業実習、中級取得コースから成る。現在中級と指導する講師は11名といる。隊員は中級クラス。理論及び実技を担当し、直接訓練生に教えることとに、その1名講師に与える技術指導を認めることとある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: LLPPKK 初級取得者より、25才、40才前後まで。					
⑤ 現地で利用できる機材: A-7溶接機 約15台、TIG溶接機 1台、MIG溶接機 1台、ガス溶接集合装置、油圧プレス機 1台 全般的に設備は整っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国では青少年対策が課題となっており、青少年に技術を学び、非行・犯罪の防止に力をいれたい。よってこの訓練所でも予算が大幅にアップし、訓練生人数も1987年には1,200名を予定している。LLPPKK 取得により就職も有利となり、隊員も12名合格者数もアップを期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>(実務経験 3年以上)</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 8 日

調査者氏名

自鳥清志

240

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スロウカ	(現地公用語) Welding (日本語) 溶接	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): National Youth Service Council (日本語): 国家青年活動評議会					
② 隊員勤務先名称: NVSC Training Centre 日本語名称( ) 所在地: Mapakadawewa 主要都市(コロンボ)から 150 キロ					
③ 事業規模及び内容: 電気、機械等のコース					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室、宿舎					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 溶接全般					
③ 業務の形態: 実習を中心とした講義もあから訓練を重ぬる。 訓練生は20名程度					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 不足している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: JOCV隊員(専任)					
⑦ 使用する言語: スロウカ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 青年の雇用拡大, 農村産業の育成					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <input checked="" type="checkbox"/> 溶接					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

9.10

記入 昭和 61 年 2 月 8 日

調査者氏名 吉村正秀

240 溶接

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
5 シリア	(現地公用語) ELECTRICAL WELDING	新規	(男) 2 人	62年3月	
	(日本語) 電気溶接工	交替	(女) 1 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF INDUSTRY					
(日本語): 工業省					
② 隊員勤務先名称: METALLIC CONSTRUCTION & MECHANICAL INDUSTRY COMPANY 日本語名称(メタリック機械工場)					
所在地: アドゥ 主要都市(ダマスカス)から 20 キロ					
③ 事業規模及び内容: メタリック機械工場は、工業省工業公園(GENERAL ORGANIZATION OF ENGINEERING INDUSTRY)の傘下の工場であり、ステームボイラー・トリーパー・オイルタンク・バス等を製造している。約100名のスタッフが在る。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): (別添資料参照)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 工場の技官・指導員					
② 技術の範囲: 各種製造製造に必要な溶接					
③ 業務の形態: メタリック機械工場には、ステームボイラー・トリーパー・オイルタンク、バス等を製造にかり、溶接技術の向上と指導に当る外、実務に従事する					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学、高卒、卒令ともに多様					
⑤ 現地で利用できる機材: 一応揃っている					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: メタリック機械工場は、(工場名 MR 3セウ) 1950年企業として設立したが、1976年に日営化し、日下生産競争を上げるため、高レベルの技術者と純粋化の手法を切望している					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
4年制大学卒、5年以上の実務経験と必要					
30歳以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 14 日

調査者氏名

吉川 浩史

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) WELDING (日本語) 溶接	新規 交替	(男) 1 人 (女) 1 人 (男女不問) 1 人	62 年 4 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION ZANZIBAR					
(日本語): サングウニ 文部省					
② 隊員勤務先名称: MIKUNGU NI TECHNICAL SEC <sup>school</sup> 日本語名称 (シンガニ 学校)					
所在地: P.O. BOX 374 ZANZIBAR 主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数 50/150 名 内 40 名 が テクニカル ノート に 所属 する。文部省 下 の 工業 校 である。津田 英二 保護 領 時代 に 同 国 務 卿 の 南 渡 工 事 の 船 上 工 作 技 術 専 門 学 校 に 変 った。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教員 (学校長の直属)					
② 技術の範囲: 板金 仕上げ、船體 に関する 知識、技術					
③ 業務の形態: 板金、仕上げ、船體 に関する 理論 及び 実習 指導 する 併せて 設備、工事 の 管理 方法 についても 指導 する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 工業 校 卒業 程度 の 教員 4 名					
⑤ 現地で利用できる機材: 7-9 馬力 溶接 機、鋸 鋸、方 尺、手 工具、一 応 揃 った 状態					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: テンマニ ボラニヤ 等 の 電気 工 教員 2 名					
⑦ 使用する言語: 英語 母 国 語 は スワヒリ 語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
実習 指導 可能 な 教員 が 少 なく 技能 実習 指導 必要 である					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
① 専攻 教育 工 学 科 卒 業 者、短 大 卒 以上					
② 実習 経験 3 年 以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 15 日

調査者氏名

Seigo WATANABE

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モロッコ	(現地公用語) IMPRIMERIE (日本語) 印刷 270	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): MINISTERE DES AFFAIRES CULTURELLES

(日本語): 文化省

② 隊員勤務先名称: 文化省(本省)

日本語名称( )

所在地: RABAT 市

主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容:

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: INGENIEUR (技師)

② 技術の範囲: 印刷機械の維持管理, 印刷技術の教育, 修理.

③ 業務の形態: 別添の通り日本政府は文化無償として58年度及び60年度の  
2回にわたり、印刷機械の備蓄を決定している。この備蓄は、カメラ等  
がモロッコを訪問し指導員も引き続き指導員の派遣を要請している。  
当面専門家派遣を実施したと、協力隊員に引渡すことになり、  
機械等内容はリストの通り。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特定のカウンターパートはいないが、  
数人のグループに対し、私利私欲の立場での指導が決められた。

⑤ 現地で利用できる機材:

別添リストの通り。

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: フランス語 (or アラビア語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

モロッコ人技術者の育成、機械の維持管理。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

モロッコ側から求められている

大卒で経験3~5年。(学歴も経験、技術を重視  
したい。—— 駐在員所見)

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 10 日

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コスタリカ	(現地公用語) IMPRESA	新規 交替	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 270 印刷		(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: COLEGIO VOCACIONAL DE ARTES Y OFICIOS 日本語名称(コバタ実業高校)					
所在地: サン・ニコラス・デ・カッタゴ 主要都市(首都)から km キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 講師もしくは技術指導員					
② 技術の範囲: オフセット印刷 (カラー含正)					
③ 業務の形態: 印刷科コース作業場にて実習指導にあたる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カウンターパートは印刷科講師 対象生徒数約 90 名					
⑤ 現地で利用できる機材: 印刷機 SOLNA 105, ステロ版 ORASOL DE KALLE 等					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: 西語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
中堅技術者養成					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
学歴不問・実務経験重視					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 17 日

調査者氏名 鈴木 規子

290

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Marine Engineering	新規	(男) 1 人	61年12月	
	(日本語) 小型造船(船舶工学)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Kementerian Pelajaran Malaysia  
(日本語): マレーシア文部省
- ② 隊員勤務先名称: Politeknik Ungku Omar, Ipoh 日本語名称(イボ-技術工学短大)  
所在地: Jalan Dairy, Ipoh, Perak 主要都市(イボ-市内)から 5 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 電気, 機械, 土木建築, 商業の4科を擁し, 学生 2,000人, 教員が 250人  
いる。マレーシアにある5校(含建設中)の Politeknik の中で最も古く, 1969年設立。船舶工学コースは  
機械科に含まれ, 修学期間は4年間。生徒は日本の学科より高校2年を終え入学資格を  
得る。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 船舶工学の実習場は40坪に分かれ2あり, 各実習場に  
それぞれ, ディーゼルエンジン(2717L・4717L), タービン, ホイラーがある。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 船舶工学コース 講師
- ② 技術の範囲: 船舶工学一般, 特にディーゼルエンジンに関する知識, 技術は不可欠。  
深く広い幅広い知識と経験が必要である。
- ③ 業務の形態: 1学年30名からなる生徒に対する船舶工学一般の指導。特に  
実習が中心となる。

対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象学生は 18~23才位。同様となる  
講師・テクニシャンは7名。年齢30才程度。実務能力は低い。

⑤ 現地で利用できる機材: ディーゼルエンジン2台(2717L・4717L), タービン, ホイラー  
(添付写真参照), 他学科の溶接機等。

⑥ 第3国人等の配置状況: 自動車科, 建築製図科, 電子科, 溶接科に協力隊員が各1名。

⑦ 使用する言語: マレー語 (英語の素養をあれば望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 船舶工学コースには 1984年春まで日本人専門家が11人とい  
から設備的にはかなり整備されたものの, 専門家を帰国後, 現地人講師が十分に機材を  
利用できなかったため理論中心に教えらるる。マレーシア全国に2校に1校の船舶工学コースのみ  
1校として, 理論だけでなく技術も伴った船舶技術者育成のための, 隊員の協力を必要と  
している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

(高専卒以上(船舶工学専攻)) 商船大学等での指導経験があれば  
望ましい。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 14 日

調査者氏名 鈴木規子

290

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Shipbuilding Drawing and Moldlofting (日本語) 小型造船 (船舶設計・製図)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月 61 12	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Kementerian Pelajaran Malaysia (日本語): マレーシア文部省					
② 隊員勤務先名称: Universiti Teknologi Malaysia 日本語名称 (マレーシア工科大学) 所在地: Jalan Gurney, Kuala Lumpur 主要都市 (首都圏内) から キロ					
③ 事業規模及び内容: 当国唯一の国立技術総合大学であり、学生数 6,000 名 (年齢は 19 才から 27 才)、教職員数 600 名を擁する。3 年制と 5 年制から成っており、船舶工学科は機械工学部の中に 4 年前に設立されたコースである。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 船舶模型 (長さ 1m 程度) 2 台、実習用水槽 1 台、他学科の溶接機、工作機械等 (添付写真参照)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 機械工学部船舶工学科講師					
② 技術の範囲: 当国の造船所では最大 1 万トン級までの船舶を建設しているが、隊員には 5 ~ 6,000 トン級の船舶の設計・製図実技と現図展開 (Moldlofting)					
③ 業務の形態: 実技と学生及び現地人講師に指導している。又併せて実習場の整備・管理も行なう。教壇に立つことは当面なく、実習中心に担当する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象となる学生は 20 才前後、カウンターパートは同僚講師 2 名 (38 才、博士; 27 才、修士、日本で 4 ヶ月間の研修受講済) 及び					
⑤ 現地で利用できる機材: 現地人 7 人 — (添付写真の船舶模型、水槽 及び 他学科の溶接機等 一部の設備は整っている。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 溶接科、冷凍空調科、工作機械科、鋳造科に協力隊員が各 1 名					
⑦ 使用する言語: マレー語 (英語の素養もあれば) 及び上記 4 の 38 才のカウンターパートはバンラティ人					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 望み)					
現在、船舶工学科では実技と充分指導できる講師がいないため船舶設計・製図の理論を中心に教えている。又、現図展開 (Moldlofting) については実際の造船所では最も必要とされている技術であるにもかかわらず、指導できる人材がいないため全く教えられていない。隊員には実技を中心に、特に Moldlofting の導入が期待					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): されている。					
(高専卒以上 (機械工学か船舶工学専攻)、中小規模の造船所にこの実務経験 (特に現図展開 (Moldlofting) の実務経験は不可欠) 3 年以上					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表 国際協力事業団

ポート・モレスビー事務所長

記入 昭和 60 年 9 月 10 日

調査者氏名



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パプア ニューギニア	(現地公用語) 290 小型造船	新規	(男) 1 人	61年12月	
	(日本語)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): Department of Primary Industry  
(日本語): 第1次産業省

② 隊員勤務先名称: National Fishery Training College 日本語名称 (国立漁業訓練学校)  
所在地: Keviang, New Island Province 主要都市 (ポートモレスビー) から 1,500 キロ

③ 事業規模及び内容: 短期単科大学 学生数 1 学年 40 名 2 学年制  
教室 学生寮 講堂 実験室 実習船 etc. 1975 年日本の  
無償援助 (約 6 億円) にて設立

④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 指導教官、造船工場の  
② 技術の範囲: 内燃機関及び船外機の構造 理論 保守 整備等  
小型船造船の一般的技術の実習指導等  
③ 業務の形態: 学生に対して造船に関する理論 技術の指導と  
行う。併せて、小型船の造船実習も指導する。  
—— 実習指導。  
PNG 木の浮き出しの備

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は学生で学歴はグレード  
12 (日本の高卒に匹敵) 年齢 17 ~ 18 才

⑤ 現地で利用できる機材: 不明

⑥ 第3国人等の配置状況: 75人

⑦ 使用する言語: 英語 及び (ピジンイングリッシュ)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1975 年 日本の無償援助で設立されて以来  
当校に在駐した日本人教官が帰国した後、現地人による技術  
指導が行われているが、その教授内容の質的向上と教授陣の  
充実補強を推進させるために、隊員の派遣が下いには期待されて  
いる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大卒 (工学部造船科又は  
それに類する学科卒業生) 必ずしも教職経験の必要なし

※ 事務局記入